

連続フォーラム 第1回：技術的な課題 ～試行的導入で明らかになった分析方法の課題および 総合的評価（アプレイザル）のあり方～ 医療システムの持続可能性とイノベーションの両立 シリーズ

日本医療政策機構は、5月31日（木）にプレ会合「医療システムの持続可能性とイノベーションの両立 シリーズ～試行的導入から見えてきた費用対効果評価導入への課題～」を開催いたしました。この度、プレ会合のラウンドテーブル・ディスカッションで得られた論点をもとに、議論を深めていくことを目的に、「連続フォーラム 第1回：技術的な課題～試行的導入で明らかになった分析方法の課題および総合的評価（アプレイザル）のあり方～」を開催いたします。

日時： 2018年7月19日（木）16:30-18:30（開場：16:15）
会場： Global Business Hub Tokyo フィールド・スペース
（東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティグランキューブ GBHT 3F）
主催： 特定非営利活動法人 日本医療政策機構（HGPI）
形式： 国内外を代表する有識者約15名によるラウンドテーブル
参加予定者： 政策立案者、関連省庁関係者、学識関係者、企業関係者など（20名程度）

プログラム案：（ご参加依頼中・順不同・敬称略）
※内容や参加者等、詳細は現時点でのものであり変更の可能性があります

16:15 開場

16:30-16:40 開会（趣旨説明）

16:40-18:30 費用対効果評価の分析方法の課題および総合的評価（アプレイザル）について

ラウンドテーブルの流れ：登壇依頼中・順不同・敬称略

※発表2～5では、各専門家の方々に（7分程度）で論点提示、
それをもとに全体で討議（15分程度）

発表1) 「政策議論の進捗（案）」

古元 重和 （厚生労働省 保険局 医療課企画官）

発表2) 「医薬品分析方法における課題（案）」

長瀬 敏雄 （ギリアド・サイエンシズ株式会社
ガバメント・アフェアーズ ディレクター）

・ラウンドテーブルによる議論

発表3) 「医療機器分析方法における課題（案）」

加藤 幸輔 （エドワーズ ライフサイエンス株式会社 代表取締役社長）
・ラウンドテーブルによる議論

発表4) 「再分析の課題（案）」

赤沢 学 （明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室 教授）
・ラウンドテーブルによる議論

発表5) 「総合的評価（アプレイザル）の課題（案）」

桜井 なおみ （キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長）
・ラウンドテーブルによる議論

ラウンドテーブル参加者：

赤沢 学 (前掲)
 池田 俊也 (国際医療福祉大学 医学部公衆衛生学 教授)
 市川 衛 (日本放送協会 (NHK) 制作局 第1制作センター
 科学・環境番組部 チーフ・ディレクター)
 今村 聰 (公益社団法人 日本医師会 副会長)
 大西 佳恵 (クリエイティブ・スティカル株式会社 日本代表)
 加藤 幸輔 (前掲)
 河野 圭志 (中外製薬株式会社 上席執行役員
 渉外調査・グローバルヘルスポリシー担当)
 小谷 秀仁 (PHC ホールディングス株式会社 代表取締役社長/
 最高経営責任者 (CEO) 兼 最高技術責任者 (CTO))
 古元 重和 (前掲)
 斎藤 直一 (ヤンセンファーマ株式会社 インテグレイティッド・
 マーケットアクセス本部 ポリシーインテリジェンス部 部長)
 桜井 なおみ (前掲)
 下妻 晃二郎 (立命館大学 生命科学部 生命医科学科 教授)
 田倉 智之 (東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学講座 特任教授)
 長瀬 敏雄 (前掲)
 中村 洋 (慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授)
 真島 喜幸 (特定非営利活動法人 パンキャンジャパン 理事長)

モデレーター：

特定非営利活動法人 日本医療政策機構

18:30

閉会
会場イメージ図：
